

2009.9.27. 「保護者懇談会」学長挨拶

保護者会

長崎国際大学 学長 潮谷 義子

秋深し…このような季語が使いづらい最近の気象ではございますが、ご健勝にお過ごしのことと存じます。

本学は創立10周年の節目を迎えました。この間、保護者、地域、関係者の皆様に支えられ、愛されて本学が歩むことが出来たことに、深い感謝とお礼を申し上げます。

本学は常に、地域と時代の動向に目を向け、年により新たな学部学科を創設して参りました。教育の目標には、専門的知識と実践力、豊かな人間尊重を培い、学生自らが満足感、充実感を得る喜びを掲げて参りました。同時に就職の時に求められている国家資格合格を目指して、教職員一同、真摯に取り組んで参りました。

しかし、「就職超氷河期」と表現されたり、困難な就職活動に時間を割くより、婚活を考えた方が良くと揶揄されたり、大変厳しい社会の状況があります。

現場で役立つ人材に育てるということは、決して受動的にということではなく、どのように社会が変化しても、自らが能動的に思考、対応出来る人材として育てる事が必要と考えております。

この目標の実現は、大学ばかりではなく、各々のご家庭とも連携を深くしていくことなしに到達出来るものではありません。私共は、個人の人材の在り方が実は、社会の歴史にも深く関連しているという認識のもとに、常に学生中心の視点のもとで関わっております。

どうぞ、今後とも保護者の皆さまと共に、本学で学んで良かったと共感出来る学生生活を過ごすためにお支え下さい。

本日の保護者会を通して、皆様の忌憚のないご意見を賜り、それを糧として、教職員一同、前進して参ります。

本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。